



杉並版ふるさと納税の取組み

てきがいそう

「萩外荘」の復原・整備

※「復原」は、文化財用語で、文化財建造物の修理の際に用います。

杉並区は、皆様の寄附を「萩外荘」の復原・整備に活かします。

国指定史跡「萩外荘」って？



▲創建時の萩外荘<写真：個人蔵>

「萩外荘」は、昭和戦前期に総理大臣を3度務めた政治家近衛文麿（このえ・ふみまろ）の別邸で、萩窪駅から南東に700mほどの萩窪2丁目の住宅街にあります。

昭和初期に、大正天皇の侍医も務めた入澤達吉の別邸として建てられ、昭和12（1937）年に近衛に譲渡されました。近衛内閣では、「萩窪会談」、「萩外荘会談」という重要な政治会談や組閣の舞台となった場所として、平成28年3月に、国の史跡に指定されました。

「萩外荘」の名は、近衛に譲渡された後、近衛の後見人であった元老の西園寺公望が命名したと言われています。

戦後は、内閣総理大臣を務めた吉田茂が、一時期住んだこともあります。

萩窪会談（昭和15年）

第二次近衛内閣成立直前の昭和15年（1940）7月19日、大臣就任予定者である松岡洋右（外相）、吉田善吾（海相）、東條英機（陸相）を招いて開いた会談。

ドイツ・イタリアとの提携強化を含む第二次近衛内閣の基本方針が話し合われました。この方針は、同年9月27日の日独伊三国同盟締結につながりました。

萩外荘会談（昭和16年）

開戦直前の昭和16年（1941）10月12日、対米開戦を回避するべく開かれましたが、アメリカの要求する中国大陸からの陸軍撤兵を陸相の東條英機が拒否したため、第三次近衛内閣は総辞職することとなりました。

近衛文麿（1891～1945）



<肖像画：杉並区立郷土博物館蔵>

近衛文麿は、大正・昭和期の政治家です。藤原摂関家の嫡流で、皇室に継ぐ由緒を持つ近衛公爵家の長男として生まれました。

昭和12年（1937）6月に第一次近衛内閣を組織し、その後も昭和15～16年（1940～1941）に第二次・第三次近衛内閣を率いました。

終戦後の昭和20年（1945）12月6日にGHQより逮捕令が発せられ、巣鴨拘留所出頭当日の12月16日早朝に、「萩外荘」の書斎にて自決しました。

「萩外荘」の復原・整備にご寄附をお願いします

寄附の方法



区役所の窓口、または

「ふるさとチョイス」から寄附できます。



ふるさとチョイス 杉並区 検索

ご寄附を頂いた方には…

10万円以上のご寄附で	復原時、応接間に貼られるタイル（龍の紋様）を1枚あなたのタイルとして認定します。	龍の文様のタイル 
5万円以上のご寄附で	復原時、応接間に貼られるタイル（無地）を1枚あなたのタイルとして認定します。	無地のタイル 

※1万円以上のご寄附：館内にご芳名を掲示します

復原・整備をするとどうなるの？

「萩外荘」には、近衛文麿が居住していた当時、居住棟、別棟、玄関棟、客間棟、蔵がありました。

ところが、このうち、客間棟と玄関棟が、昭和35年（1960）に豊島区内に移築されました。



昭和12年以前の応接間 <写真：個人蔵>

今回、杉並区は、この豊島区内に移築された客間棟と玄関棟を再移築して、近衛文麿居住当時の姿へ「復原・整備」し、杉並の地に、「萩外荘」を甦らせることで、杉並や日本の昭和の歴史を考え、語り継ぐ場ができることを目指します。

■萩外荘の設計者：伊東忠太（1867～1954）

萩外荘は、建築家、建築史家である伊東忠太の設計により建てられました。伊東忠太は、西洋建築学を基礎にしながら日本建築を本格的に見直した第一人者です。

独特の様式の国指定重要文化財である「築地本願寺」は、伊東忠太の作品です。